

## 関連データの推移から市場の動向を探る

### 新型コロナウイルスの感染拡大による整備業界への影響

新型コロナウイルス感染拡大による余波は様々な領域に及んでおり、自動車整備業の経済活動においても多くの影響が現れています。コロナ禍収束までの道筋がいまだ見通せない中、業界にどのような影響が及んでいるのか、各種データの推移から検証していきます。

**グラフ1**は、国土交通省が発表した全国高速道路の主な区間における、対前年比交通量増減の推移を示したものです。「全車」の交通量を見ると、緊急事態宣言が発出された4月（7日に7都府県、16日に全国へ拡大）は、前年比50%前後を行き来しており、ゴールデンウィーク期間に入った4月末から5月上旬は30%前後にまで落ち込んでいます。また小型車と大型車の交通量を比較すると、小型車の減少が顕著でした。これらのことから、外出自粛要請など

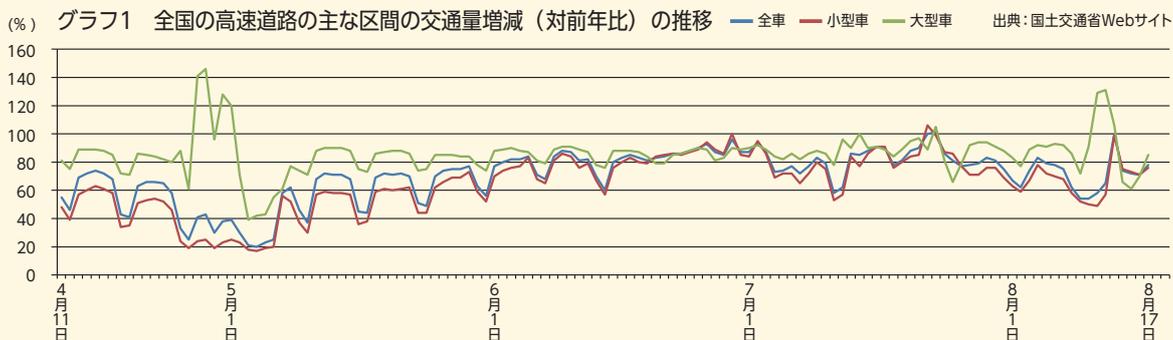
を受けて、特に私的な目的での自動車の使用が控えられていたと推察できます。その後緊急事態宣言の解除（5月14日に39県、25日に全国）などを受けて徐々に回復しましたが、感染の再拡大に伴いまた減少傾向が見られています。

交通量の増減は、特に事故整備の需要に大きく影響します。**グラフ2**は警察庁が発表する月間交通事故発生件数について、前年比増減率の推移をまとめたものです。これによると、交通量の減少に比例して4・5月の事故件数が大きく減少しています。近年は先進安全技術の進化・普及などにより、事故発生件数は毎年減少していましたが、今回の極端な減少は外出自粛等の影響によるものと考えられます。

また、今後の自動車アフターマーケット全体に関する新車販売台数にも、大きな

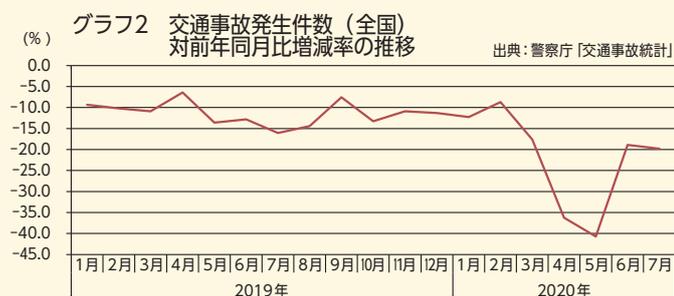
影響が見られます。新車販売台数の前年同月比の推移を示した**グラフ3**を見ると、緊急事態宣言が発出されていた4・5月が大きく落ち込んでいます。一方、公共交通機関とは異なりプライベート空間で移動が可能な「マイカー」を見直す動きもあり、今後の販売推移が注目されます。

「新たな日常」の中で、人や機材を運搬する自動車、そして地域の自動車社会を守る整備業界が、国民生活を維持する上で必要不可欠な存在であることが改めて認識されています。困難な状況下ではありますが、整備・修理工場においては感染防止ガイドラインなどを参照の上対策を施して、いついかなるときも頼れる存在として地域社会にあり続けることが求められています。



※ネクスコ3社と本四高速の代表40断面の平均交通量により算出した速報値（トラフィックカウンター等による計測）。

※トラフィックカウンターにおいて、車長5.5m未満（軽・二輪、普通車を想定）を「小型車」、車長5.5m以上（中型車、大型車、特大車を想定）を「大型車」として区分。



## 機工協、2019年度自動車機械工具販売実績を発表

# 洗車洗浄装置など5項目が 過去15年間で最高となり、 販売総額は前年度を上回る1,112億円に

日本自動車機械工具協会（柳田昌宏会長、機工協）はこのほど「2019年度自動車機械工具販売実績」（表1）の集計結果を発表しました。2019年4月～2020年3月の販売実績は1,111億7,105万9千円で前年度（1,089億3,512万5千円）と比較して2.1%の増加、2013年度から7年連続で1,000億円を超える結果となりました。

項目別で見ると、自動車総合診断装置、車検機器、洗車洗浄装置、リフト・ジャッキ・プレス、エアコンプレッサー、空圧電動工具、ハンドツール、塗装機器、バッテリー・クーラーサービス機器、エンジン診断用機器、ブレーキ・ホイールサービス機器、注油脂機器、各種システム、環境整備機器、その他の15項目が前年度を上回りました。このうち、洗車洗浄装置（90億円）、リフト・ジャッキ・プレス（194億円）、エアコンプレッサー（29億円）、バッテリー・クーラーサービス機器（33億円）、各種システム（8億円）は過去15年間で最高金額となりました。

商品カテゴリー別の売り上げ構成比（グラフ1）において、比率の大きい項目は安定した推移を見せています。

- ・リフト・ジャッキ・プレス：17.5%（対前年同比100.3%）
- ・車検機器：9.8%（同101.1%）
- ・洗車洗浄装置：8.1%（同100.6%）
- ・ハンドツール：7.2%（同102.2%）
- ・自動車総合診断装置：6.5%（100.1%）
- ・ブレーキ・ホイールサービス機器：5.7%（108.7%）

商品別の需要の特徴としては、「塗装機器」における水性塗料対応機器、「バッテリー・クーラーサービス機器」における新ガスR-1234yf対応機器、「環境整備機器」において職場環境改善に向けた冷暖房装置が好調と報告されました。

新型コロナウイルスの市場影響面で見ると、2020年3月までの実績にはおおむね現れていない状況ですが、今年度以降については、「顧客の投資意欲や業界の営業環境に大きな影響があるものと推測されてお

グラフ1 2019年度自動車機械工具売上構成比

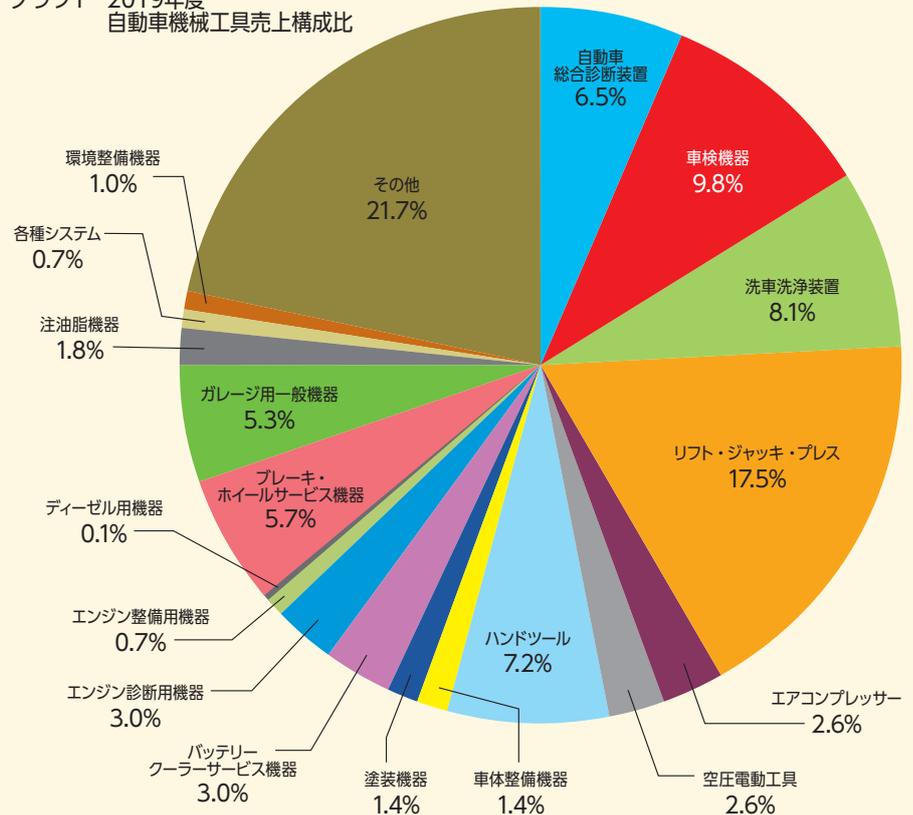


表1 2019年度自動車機械工具販売実績

項目	国内販売金額 (千円)	輸出販売金額 (千円)	輸入販売金額 (千円)	合計金額 (千円)	対前年度比 (%)
自動車総合診断装置	4,792,671	2,464,379	0	7,257,050	100.1
車検機器	10,792,654	100,557	23,917	10,917,128	101.1
洗車洗浄装置	8,852,815	17,551	141,533	9,011,899	100.6
リフト・ジャッキ・プレス	19,109,280	86,321	241,115	19,436,716	100.3
(車載用)	2,701	0	0	2,701	113.5
エアコンプレッサー	2,903,595	3,865	11,900	2,919,360	112.1
空圧電動工具	2,894,695	1,226	38,387	2,934,308	104.9
ハンドツール	7,482,549	439,351	91,278	8,013,178	102.2
(車載用)	34,003	0	0	34,003	102.2
車体整備機器	1,155,242	10,386	353,348	1,518,976	69.2
塗装機器	1,350,044	22,208	157,297	1,529,549	129.7
バッテリー・クーラーサービス機器	3,179,961	3,813	123,559	3,307,333	126.7
エンジン診断用機器	3,118,510	19,855	161,293	3,299,658	121.2
エンジン整備用機器	726,165	12,138	45,661	783,964	57.4
ディーゼル用機器	30,751	20,625	7,062	58,438	84.9
ブレーキ・ホイールサービス機器	3,937,559	17,941	2,329,991	6,285,491	108.7
(車載用)	0	0	0	0	-
ガレージ用一般機器	5,610,979	12,346	248,379	5,871,704	89.6
注油脂機器	2,019,465	6,927	16,328	2,042,720	100.3
各種システム	793,205	0	0	793,205	138.3
環境整備機器	805,417	0	257,175	1,062,592	123.6
その他	23,569,727	501,092	56,971	24,127,790	103.3
総合計	103,125,284	3,740,581	4,305,194	111,171,059	102.1
(車載用合計)	36,704	0	0	36,704	102.9

り、先行きが懸念される」との見解を示しています。

# NGP リサイクルパーツ ができるまで

## 第3回 外装部品

本コーナーはNGPリサイクル部品ができるまでの過程を解説し、リサイクル部品の品質・安全性確保や地球環境負荷低減に向けて、NGPがどのように取り組んでいる

るかを紹介して参ります。

第3回目は、「外装部品」をリサイクルパーツとして商品化するまでの工程を紹介いたします。

### STEP.1 車両確認



車両引き取り後、まず車両の状態を確認します。目視点検のほか、工場敷地内での走行テストやスキャンツールによるエラーコード等のチェックをします。その点検結果に応じて、リサイクル部品として再利用する部位、分別し資源等とする部位を選別し、それら情報等を記載した作業指示書を作成します。

### STEP.2 適正処理



自動車リサイクル法に基づき、エアバッグ、フロンガス、油脂類等を適切に処理します。エアバッグ類の装備状況、使用されている冷媒などの情報は、自動車リサイクル促進センターが運用するシステムで1台ごとに確認し、法令遵守を徹底します。

### STEP.3 部品取り外し



作業指示書に従い、各パーツをていねいに取り外していきます。

### STEP.5 品質チェック



NGPは商品化登録基準マニュアルを作成し、部品ごとに検査登録のルールを定めています。商品化登録基準のもと、傷や凹み、ひずみなどがなければ、厳しくチェックします。

NGPは基準を満たさない商品の登録・販売を禁止しています。そのためNGPのリサイクル部品は、厳格な商品基準をクリアした証である「ギャランティシール」が貼り付けられています。なおギャランティシールにはベルマークが付いていますので、ぜひ地域社会への貢献にご活用ください。



### STEP.4 リサイクル部品の美化

取り外した部品は、一つひとつていねいに洗浄します。



### STEP.8 保管

NGPでは保管中の形状変化を防止するため、保管方法にもルールを定めています。



### STEP.6 商品写真撮影



ユーザーが商品の状態を詳細に確認できるように、複数枚の写真を撮影します。

### STEP.7 NGPシステムへの登録

タブレット端末を使用して、NGPシステムに商品情報を登録します。傷などがある場合には、その位置、大きさ、種類を詳細に登録していきます。



今年リニューアルされたNGPシステムでは、リサイクル部品の状態をより分かりやすくするため、商品画像上に傷の位置を示すことができるように改良されています。

### STEP.9 梱包・発送



注文を受けたら、運送中に傷などが付かないようにしっかりと梱包し、発送します。

NGPのリサイクル部品はすべて保証が付いています。外装部品の場合は、商品到着後7日間の商品確認期間を設けています。

## NGP 今月のCO<sub>2</sub>削減量



リユース部品利用に伴うCO<sub>2</sub>削減量

令和2年7月: **2,476t**

※自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の90品目(左右ある部品を含むと115品目)を対象に算出した数値です。



リターナブル梱包材利用に伴うCO<sub>2</sub>削減量

令和2年7月: **1.2t**

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO<sub>2</sub>排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

取材協力:(有)ベストパーツ(千葉県市原市)

## NGP組合員 かわら版

### 組織指導委員会、オンライン会議を開催 組織活動の再開に向けた 対策を協議

NGP協同組合の組織指導委員会は8月6日、Webシステムを活用したオンライン会議を開催しました。

NGPでは新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各種組織活動を中止してきました。しかし新型コロナウイルスの影響が長期化する状況を受けて、組織活動を再開するための対策を検討し、まずNGPリサイクル部品の高品質を保

つ根幹である実務者同士がコミュニケーションを取れる場を設けることが重要だとの観点から、生産フロント会議をWeb上で9月に開催することを決定しました。

今回の組織指導委員会では、生産フロント会議をWeb上で開催するにあたっての注意点などについて協議しました。また、コロナ禍における組合員各社の状



況についても、共有が図られています。

NGPは感染症対策を徹底した上で今後も組合活動を継続し、コロナ禍においても高品質な商品を迅速にお届けできる体制を維持することで、自動車整備業界の皆さまを支援して参ります。

NGPニュース

## アンケート ご協力をお願い

今後もより良い情報をお届けするために、皆さまのご意見をお聞かせください。

### ご回答方法

本紙にご回答を記入しFAXにてお送りいただくか、QRコードからアンケート用特設サイトにアクセスし、ご回答ください。

FAX番号：03-5475-1209



### ① NGPニュースは読んでいますか？

・毎月読んでいる ・時々読んでいる ・あまり読まない ・読んだことがない

### ② ①で「毎月読んでいる」「時々読んでいる」と答えた方にお聞きします。NGPニュースの満足度をお聞かせください。

・大変満足 ・満足 ・不満 ・大変不満

### ③ ①で「あまり読まない」「読んだことがない」と答えた方は、その理由をお聞かせください。

・読む時間がない ・必要な情報がない ・内容がつまらない ・他からの情報で十分 ・情報が多すぎる  
・その他 ( )

### ④ ②で「大変満足」「満足」と回答された方は、どんなところに満足されていますか？

( )

### ⑤ ②で「不満」「大変不満」と回答された方はどんなところに不満を感じていますか？

( )

### ⑥ NGPニュースの改善点や要望があればお聞かせください。

( )

### ⑦ お客様の性別をお教えてください。

・男性 ・女性

### ⑧ お客様の年代をお教えてください

・20代以下 ・30代 ・40代 ・50代 ・60代 ・70代以上

#### NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F  
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209  
<https://www.ngp.gr.jp/>

#### 株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F  
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201  
<https://www.ngp.co.jp/>



FSC® 森林認証紙、ノンVOC インキ（石油系溶剤 0%）など印刷資材と製造工程が環境に配慮されたグリーンプリンティング認定工場にて、印刷事業において発生するCO<sub>2</sub>全てをカーボンオフセット（相殺）した「ゼロカーボンプリント」で印刷しています。